

保護協調チェックリスト（高圧・特別高圧配電線用）

連系線 6.6kV 1線

ご契約名義 九電 太郎

〔連系区分〕高圧・特別高圧配電線 〔発電機種別〕~~誘導機~~同期機・直流発電設備（逆変換装置使用）

保護対象	保護継電器等	判定基準		チェック結果（電力会社）	
		特記事項 （省略・共用など）	相数	補足説明	適・否
お客さま構内事故	OCR-H	・電力会社の変電所側よりも高速遮断が可能な場合は、H要素を省略できる。	2		
	OCGR	・突入電流のアンバランス又は、構内充電電流が大きい場合はDGR（方向地絡継電器）とする。	1		
	OVR	・回転機を用いた交流発電機自体の保護装置によって検出・保護できる場合は省略できる。	1		
	UVR	・同上 ・同期発電機であって、DSRとの協調がとれる場合は1相でも可能。	3		
	自動負荷遮断装置	・発電設備脱落時等に、電力会社変電所の過電流継電器が動作する恐れがあるとき。	-		
電力系統事故	DSR	・同期発電機を用いる場合に限る。 ・電力系統と協調がとれる場合は2相でも可能。	3		
	UVR	・誘導発電機及び逆変換装置を用いる場合に設置する。 ・構内事故対策用と共用できる。	3		
	OVGR	・発電機用OVGRで系統地絡事故を検出できる場合は省略できる。 ・単独運転検出機能を有する装置を設置する場合は、省略できる。（注1）	1		
お客さま単独運転防止	逆潮流無し	UFR	・専用線との連系であって、RPRで高速に検出・保護できる場合は省略できる。	1	
		RPR（注5）	・単独運転検出機能を有する装置を設置する場合は省略できる。（注1）	1	
		UPR	・LPDを省略し、2系列目の装置として使用する場合	2	
	逆潮流有り（注2）	UFR		1	
		OFR	・専用線と連系する場合は省略できる。	1	
		TTR	・単独運転検出装置を設置する場合は省略できる。	-	
		単独運転検出	受動式	・転送遮断装置を設置しない場合に設置する。	-
能動式	・転送遮断装置を設置しない場合に設置する。		-		

適：、否：×

（注1）OVGR、RPR：構内低圧線に連系する逆変換装置を用いた発電設備において、その出力容量が受電電力の容量に比べて極めて小さく（目安として5%）単独運転検出機能を有する装置等により高速に単独運転を検出し、発電設備が停止又は解列される場合は省略できる。なお、交流発電設備の場合においても、逆変換装置を用いた場合と同様にOVGRの省略は可能である。

また、逆変換装置を用いた発電設備におけるOVGRについては10kW以下の場合も省略可能
（注2）「逆潮流有り」で、誘導発電機を用いる風力発電設備において、OFR及びUFRにより単独運転を高速かつ確実に検出・保護できる場合には、TTR又は単独運転検出機能を有する装置を省略することができる。

（注3）発電設備の出力容量が契約電力に比べて極めて小さい場合であり（目安として5%）、低圧の連系区分に準じて連系する場合は、OCR-H、OCGR以外の保護装置については様式1-3-1に記載して下さい。

「Dev」と「相数」をお客さまにて記入ください。

お客さま記入欄		
Dev	相数	保護継電装置ブロック図
		・タイマーも記入すること。 ・リレーの遮断CBを記入（Dev. は単線結線図に合わせること）
OCGR	3	電機 LRT-H 無方向性 1999.2 <0.3A - 0.2秒>
64G	3	電機 MVG-AZ-096PGA INST-60ms以下 0.2秒
		ZPD零相電圧 検出 → OVGRレベル判定 → メインブレーカトリップ

（注5）RPR：構内負荷不平衡による不要解列が懸念される場合は、RPRを複数相に設置し、それらの全てが動作した場合をRPR動作とすることも可能である。また、三相回路の電力、又は単相3線回路の電力を検出可能なRPRを設置することも可能である。